

球磨支援 防災だより

熊本県立球磨支援学校
令和5年(2023年)3月
第2号
文責：防災主任

○3学期の防災訓練



3学期は、避難訓練(地震・火災)、初期対応訓練(地震、弾道ミサイル)を実施しました。

2月に実施した避難訓練では、「地震発生後に火災が起き、地震により倒壊箇所がある、停電で放送機器が使えない」という設定で、訓練を行いました。

児童生徒は、緊急地震速報を聞いて机の下にもぐったり、ヘルメットや頭巾をかぶったりして身を守りながら教師と一緒に避難することができました。職員は、倒壊箇所を見つけると、周囲に危険を知らせ、より安全な避難経路を探しながら避難誘導を行い避難をしました。今回の訓練では、停電により放送機器が使えない場面を想定したため、拡声器を使って火災発生場所を知らせたり、落ち着いて避難ができるように子供たちへ言葉を掛けたりしました。職員にとっても避難誘導や連携方法の課題点を確認することのできた訓練となりました。今後も「○○かもしれない」「もし○○だったら」と想像することを大切にしながら、実践的な訓練となるよう取り組んでいきたいと思えます。



○小学部5・6年生「防災の学習」をしました

小学部5・6年生は、生活科「安全(防災)」の中で「非常持ち出し袋」について学習をしました。

はじめに、身近な災害には、どんな種類があるのかを、ニュースなどの動画や学校で取り組んでいる自分達の訓練の様子を写真で見確認しました。その後、大きな災害が起きたとき、「避難所」という場所ができることを学習しました。授業では、避難所に持って行く「非常持ち出し袋」に、どんな物を入れておくよいかを教師が紹介し、その必要性についてみんなで考えました。

児童は、水や普段食べ慣れているお菓子、マスク、大好きなキャラクターの絵本など、一人一人自分が必要だと思うものを考えながら選択し、自分の非常持ち出し袋を準備することができました。



球磨支援学校の先生たちに聞きました！

『おしえて、あなたの備え！』

☆家族で必要な物を話し合い、非常持ち出し袋には、子供用のおむつやミルク、子供の好きなぬいぐるみなどをに入れて準備しています。

☆引っ越しをする際は、ハザードマップを見て確認するようにしています。